



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 3月園だより

平成31年2月27日
園長 新井智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shiroka.nedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>

<わくわく発表会>

3歳児「大きなおなべ」



「どうぞのいす」



4歳児「ねこのおいしゃさん」



「チューコちゃんのおよめいり」



巣立ちの春

園長 新井智子



幼稚園でふきのとうを見付けました。春の訪れを感じるこの頃です。先日、年少組と年中組のわくわく発表会が行われました。それぞれ一年間の成長の様子を、劇や歌、合奏を通して感じていただけたかと思いません。友達と同じ場で動物になりきって楽しそうに動く姿、ストーリーの展開が分かり、保護者に見せるために張り切る姿、当日だけではなく、それまでに経験してきたことが、垣間見えるひと時だったのではないのでしょうか。また、友達を思いやるしぐさが随処に見られたと、多くの方が、感想を寄せてくださいました。友達の背中を持ち物を代わりに取ってあげたり、座る場所をそっと詰めてあげたり、せりふを忘れた友達の耳元でささやいて教えてあげたりなど、その学年なりの友達との温かな関わりが見られたことも成長でした。

今、修了を前に年長児がこれまで行ってきた当番や園の仕事の引き継ぎが行われています。誕生会の司会を丁寧に手を添え説明している年長児。司会の後ろに小さく佇んで年中組の様子を見守っている姿ややりとりに成長と小学生になる自覚が見られます。

いよいよ弥生三月。年長児が春の森に見送られ、巣立つ時を迎えます。創造的な生活が営める自然豊かな環境の中で、同年齢の子どもたちと関わり、ものに関わり、事象を取り込み、たっぷりと遊び込んで、子ども社会を形成してきた三年間が修了します。これまでの経験を宝物にし、踏み台にして、大きく羽ばたいてほしいと願います。子どもたちは、幼稚園での自信を胸に、瞳を輝かせて小学校入学に期待を寄せています。

一年間、保護者の皆様や地域の皆様には、温かなご支援とお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 自分なりの思いやイメージを言葉や動きで表しながら、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 友達と遊ぶ中で、「うれしい」「困った」などの様々な気持ちを味わったり、相手の気持ちに気付いたりする。
- 園生活をする中で身支度や片付けなど、自分で出来ることが増えた喜びを感じ、進級を楽しみにする。

4歳児

- みんなであることが分かり、自分なりに動いたり、友達の思いに気付きながら一緒に取り組んだりする。
- 誕生会の司会やお別れ会の準備、当番の引き継ぎなどを通して、自分の成長を感じたり、進級への期待をもったりする。
- 春の訪れを感じながら、戸外で友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

5歳児

- 友達と互いに認め合い、心のつながりや学級のまとまりを感じながら、残り少ない園生活を十分に楽しむ。
- 幼稚園の思い出を振り返ったり、3・4歳児と触れ合ったりする中で自分の成長を感じる。
- 就学への期待を高め、一人一人が自覚と自信をもちながら、修了に向けての活動に意欲的に取り組む。

